

＜展示物＞

大阪市中央公会堂に郷里唐津工業高校からモデルの出展

辰野金吾博士が手掛けた最後の建築は「大阪市中央公会堂」とされています。その公会堂は一昨年(2018年)に完成100周年を迎え、翌2019年が辰野金吾没100年に当たりました。この巡り合わせに呼応し、唐津工業高校建築科の生徒が昨期の卒業生を含め2年にわたり取り組んでくれたのが「大阪市中央公会堂」の模型作りです。そして本年(2020年)2月に完成しました。

模型は2月18日より中央公会堂展示室にて公開されています。お披露目式では大阪市担当者、中央公会堂館長、関西唐津会会長、佐賀県関西・中京事務所長ら、このプロジェクトを支えてくださった方々に100年の時空を超えた郷里の若人の熱意の発露を称えていただきました。また今春卒業する生徒がビデオレターを通して制作上の工夫を紹介するとともに、全国の人達にこの模型作品をご覧いただき辰野金吾の偉業とその故郷、唐津へ思いを馳せてほしいとメッセージを届けてくれました。

＜投稿者＞唐津観光協会専務理事：國谷恵太氏



100年前の設計図書を頼りに
1/100サイズで再現されたモデル

コロナ禍による非常事態宣言などで閉鎖されていた展示室も現在は入館できます。会場は地下鉄・京阪電車「淀屋橋」駅から徒歩5分。来年の3月まで展示予定です。郷里の唐津紹介のパンフレットなどもありますので、お立ち寄りください。

唐津鶴城同窓会 関西支部長
坂本 順一